

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html>)

(石油:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/oil.html>)

マイライブラリー:0401

(注)本稿は2017年2月13日から3月9日まで14回にわたり「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2017.3.12
前田 高行

五大国際石油企業2016年度業績速報シリーズ

目次	頁
I. 各社の業績概要	
1. ExxonMobil の2016年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	3
2. Shell の2016年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	4
3. BP の2016年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	4
4. Total の2016年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	5
5. Chevron の2016年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	6
II. 2016年の業績比較	
1. 売上高	6
2. 利益	7
3. 売上高利益率	7
4. 設備投資額	8
5. 石油及び天然ガス生産量	
(1)石油生産量	8
(2)天然ガス生産量	8
(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	8
III. 2015年と2016年の5社業績比較	
1. 売上高	9
2. 損益	
(1)総合損益	9
(2)上流部門と下流部門の損益比較	10
3. 設備投資	11

III. 8カ年(2009-2016年)業績推移の比較	
1. 売上高	11
2. 利益	12
3. 売上高利益率	13
4. 設備投資	13
5. 石油及び天然ガス生産量	
(1)石油生産量	14
(2)天然ガス生産量	15
(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	16

国際石油企業(International Oil Companies, IOCs)の2016年第4四半期(10-12月)及び年間(1-12月)の決算が発表された。本稿では ExxonMobil、Shell、BP(英)、Total(仏)及び Chevron(米)の主要5社を取り上げ、各社の売上高、利益、石油・ガス生産量、投資額等を概観し、さらに5社の業績比較を行う。

I. 各社の業績概要 (末尾表 1-D-4-20 参照)

1. ExxonMobil の 2016 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<http://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-78-billion-2016-17-billion-during-fourth-quarter>

(1)売上高

ExxonMobil の 2016 年 10-12 月の売上高は 610 億ドルであり、また通年売上高は 2,261 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ+2%の増収及び -16%の減収である。

(2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 17 億ドル及び 78 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は-40%、通年では-52%であり、いずれも前年比 1/2 前後の大幅な減益であった。通年利益のうち上流部門の利益は 2015 年の 71 億ドルに対して 2016 年はわずか 2 億ドルにとどまっている。一方下流部門は 2015 年の 66 億ドルに対して 2016 年は 42 億ドルで減少幅は-36%であった。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

ExxonMobil ではかつて上流部門の利益が大きな割合を占めてきたが、最近では下流部門が会社の利益を支える状況にある。原油価格の急落が上流部門の利益を圧迫し、逆に安価な原油価格に支えられて下流部門の利益が急増する状況にあった。但し 2016 年は原油価格の下落が製品価格にも波及し利益は減少傾向にある。この傾向は他の 4 社でも同様もしくはそれ以上の厳しい結果になっている。

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 3.5%であり、前年の 6.0%に比べてかなり見劣りする。

(4)設備・探鉱投資

2016 年の年間の設備・探鉱投資額は 193 億ドルであり、これは 2015 年比で 37.8%の減少であった。

(5)石油・ガス生産量

昨年の ExxonMobil の石油生産量は日量平均 2,365 千バレル(以下 B/D)であり、前年(2015 年)の横ばいであった。天然ガスは日量平均 10,127 百万立方フィート(以下 mmmcf)であり、これは前年比 3.7%減である。石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 4,053 千 B/D となり、2015 年比では 1.1%

減である。

2. Shell の 2016 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<http://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2017/fourth-quarter-2016-results-announcement.html>

(1)売上高

Shell の 2016 年 10-12 月の売上高は 648 億ドルであり、また通年売上高は 2,336 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ 11%の増収、-12%の減収であった。

(2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 15 億ドル及び 46 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は 64%の増益であり、通年では前年比 2.4 倍の大幅増益となっている。通年利益のうち上流部門は 37 億ドルの大幅な損失であるのに対して下流部門は 66 億ドルの利益であった。但し前年利益の 102 億ドルに比べるとほぼ 3 分の 2 に縮小している。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 2.0%であり前年の 0.7%から改善している。

(4)設備・探鉱投資

2016 年の年間の設備・探鉱投資額は 221 億ドルであり、これは 2015 年比で 15%の減少であった。

(5)石油・ガス生産量

昨年の Shell の石油生産量は日量平均 1,838 千 B/D であり、前年(2015 年)に比べ 22%増加している。天然ガスは日量平均 10,613mmcf/d であり、こちらも前年比 27%増である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 3,668 千 B/D となり、2015 年比では 24%増である。

3. BP の 2016 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<http://www.bp.com/en/global/corporate/press/press-releases/fourth-quarter-2016-results.html>

(1)売上高

BP の 2016 年 10-12 月の売上高は 510 億ドルであり、また通年売上高は 1,830 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は 4%の増収、通年ベースでは-18%の減収である。

(2)利益

10-12 月期は前年の赤字を脱却し、5 億ドルの黒字を計上した。通年ベースでも前年度の 65 億ドルの大幅な損失から今期はわずかではあるが 1 億ドルの利益となった。部門別では上流部門は通

年で6億ドルの利益を計上、下流部門は前年を下回ったものの52億ドルの黒字であった。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3) 売上高利益率

通年ベースの売上高利益率はプラス0.1%である。なお前年はマイナス2.9%であった。

(4) 設備・探鉱投資

2016年の年間の設備・探鉱投資額は167億ドルであり、これは2015年比で10%減であった。

(5) 石油・ガス生産量

昨年のBPの石油生産量は日量平均1,208千B/Dであり、前年(2015年)比2%減であった。一方、天然ガスは日量平均5,796mmcf/dであり前年比3%減であった。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で2,208千B/Dとなり、2015年比では2%減である。

4. Totalの2016年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績

* 同社ホームページ:

<http://www.total.com/en/media/news/press-releases/fourth-quarter-and-full-year-2016-results>

(1) 売上高

Totalの2016年10-12月の売上高は423億ドルであり、また通年売上高は1,497億ドルであった。前年同期比では10-12月期は12%の増収、通年ベースでは-9%の減収である。

(2) 利益

10-12月期は5.5億ドル、通年では62億ドルの利益であり、10-12月期は大幅な赤字から黒字に転換、通年では22%の増益である。通年利益のうち上流部門の利益は36億ドルで前年に比し24%減少、下流部門は42億ドルの利益で前年を14%下回った。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3) 売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は4.1%であり、前年の3.1%より良くなっている。

(4) 設備・探鉱投資

2016年の年間の設備・探鉱投資額は178億ドルであり、これは2015年比で13%の減少であった。

(5) 石油・ガス生産量

昨年のTotalの石油生産量は日量平均1,271千B/Dであり、前年(2015年)比3%増であった。天然ガスは前年より6.5%多い日量平均6,447mmcf/dである。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で2,452千B/Dとなり、2015年比4.5%増である。

5. Chevron の 2016 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-reports-fourth-quarter-net-income-of-415-million>

(1)売上高

Chevron の 2016 年 10-12 月の売上高は 315 億ドルであり、また通年売上高は 1,145 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ 8%増収、17%減収である。

(2)利益

10-12 月期の損益は 4 億ドルの利益、通年では 5 億ドルの損失である。前年同期と比較すると 10-12 月期は赤字から黒字に転換したが、通年では前年の 46 億ドルの利益から赤字に転落している。通年利益(損失)のうち上流部門は 25 億ドルのマイナスであり、下流部門は 34 億ドルの利益を確保している。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は、マイナス 0.4%であり、前年のプラス 3.3%からマイナスに転落している。

(4)設備・探鉱投資

2016 年の年間の設備・探鉱投資額は 224 億ドルであり、これは 2015 年比で 34%減である。

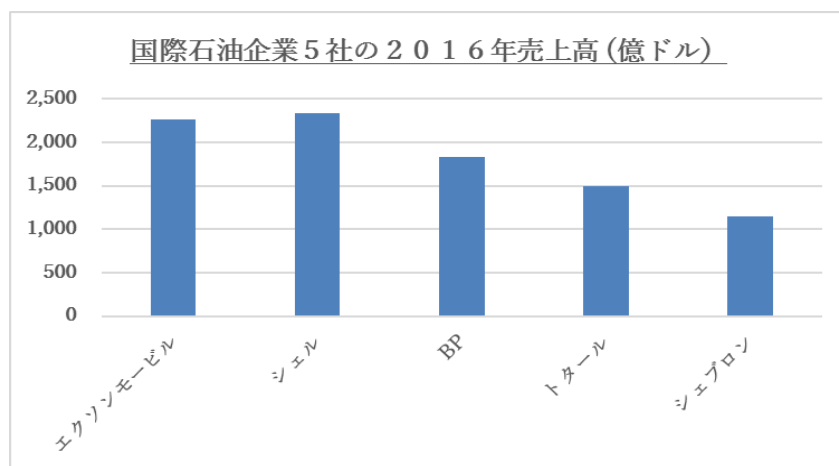
(5)石油・ガス生産量

昨年の Chevron の石油生産量は日量平均 1,719 千 B/D であり、前年(2015 年)比 1.4%減であった。天然ガスは日量平均 5,252mmcf/d で前年横ばいであった。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,594 千 B/D となり、2015 年比では 1%減である。

II. 2016年の業績比較

1.売上高

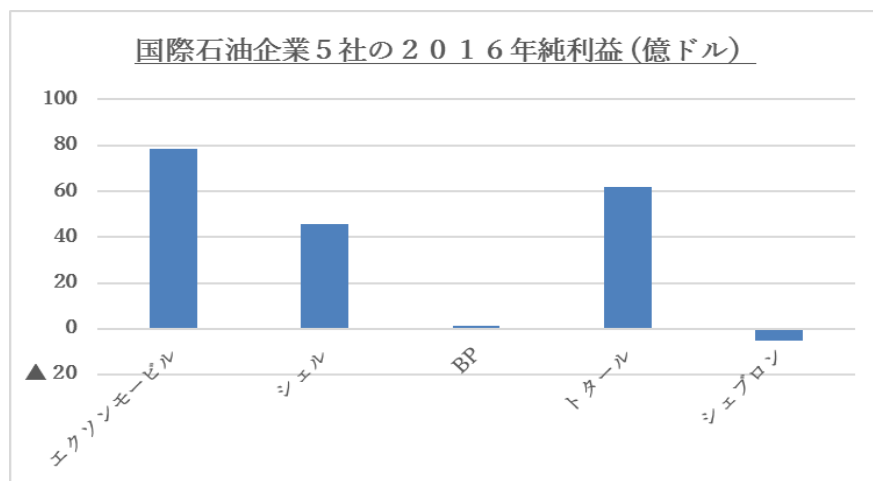


ここでは ExxonMobil, Shell, BP, Total 及び Chevron 5 社の 2016 年の売上高を比較する。5 社の中で売上高が最も大きいのは Shell の 2,336 億ドルであり、これに続くのが ExxonMobil の 2,261 億ドルである。なお後述する 8 年(2009-2016 年)業績推移で詳しく触れるが、

2012年までの売上高は ExxonMobil がトップであったが、2013年、2014年および2015年は僅差ながら Shell がトップである。

Shell、ExxonMobil に次いで売上高が大きいのは BP の 1,830 億ドルであるが、これはシェルの約8割である。Total、Chevron の売上高はそれぞれ1,497億ドル及び1,145億ドルで、Chevron はトップの Shell の売上高のほぼ半分である。

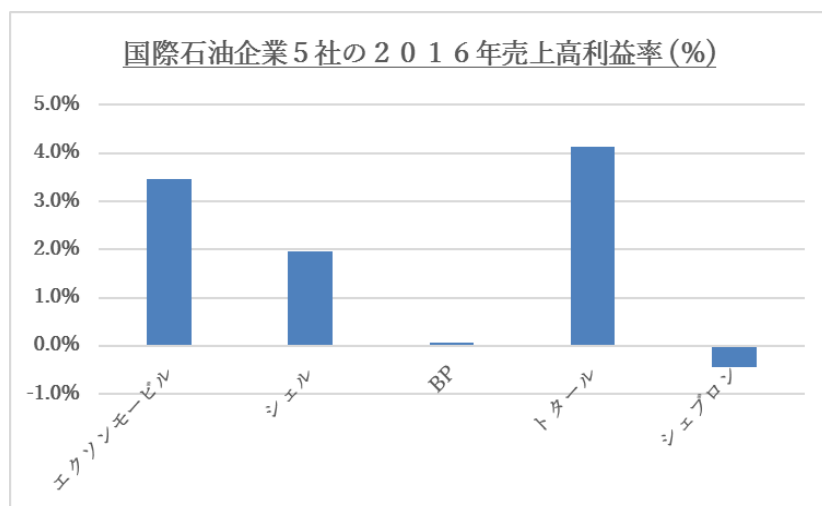
2. 利益



ExxonMobil が5社の中で利益額が最大であり(78億ドル)、これに次ぐのが Total の62億ドル、Shell の46億ドルである。昨年大幅な赤字を出した BP は今期は1億ドルとわずかながらも利益を計上している。これら4社に対して Chevron は5社の中で唯一5億ドルの欠損を出している。

出している。

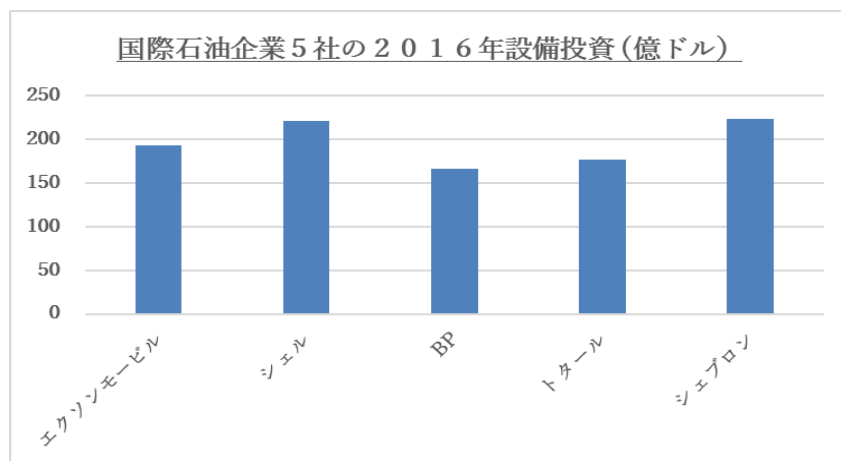
3. 売上高利益率



売上高と利益の比率である売上高利益率を見ると、Total が 4.1% と最も高く、ExxonMobil が 3.5% で続いている。シェルは売上高トップであるが利益率は 2.0% と5社の中では真ん中である。BP は今期漸くプラスに転じたが利益率はわずか 0.1% にとどまり、欠損を計上した Chevron の売上高利益率は

マイナス 0.4% である。

4. 設備投資額



2016年の設備投資額が最も大きいのは Chevron の 224億ドルである。シェルは Chevron に並ぶ221億ドルで、これら2社に続くのは ExxonMobil(193億ドル)及び Total(178億ドル)で、5社の中で最も少ないのは BP(167億ドル)であり、トップの Chevron の4分の3にとどまっている。

どまっている。

5. 石油及び天然ガス生産量 (末尾表 1-D-4-20 参照)

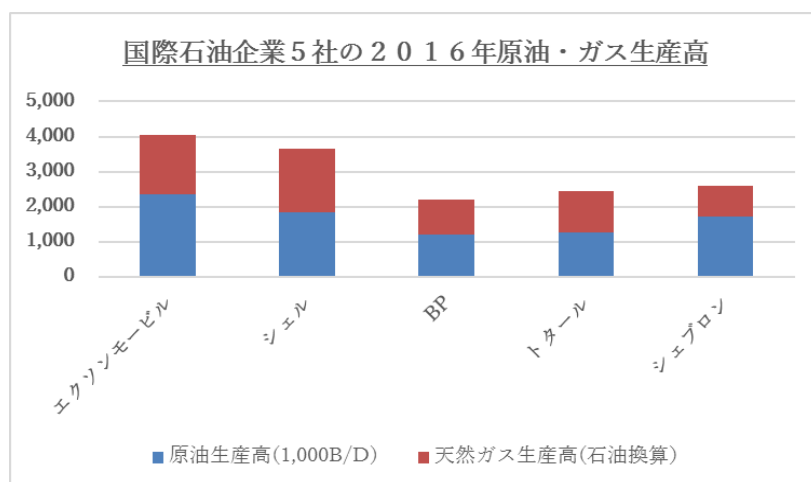
(1) 石油生産量

昨年の石油生産量が最も多かったのは ExxonMobil の 2,365千 B/D であり、5社の中で同社だけが2百万 B/D を超えている。ExxonMobil に次いで生産量が多いのは Shell(1,838千 B/D)、第3位は Chevron(1,719千 B/D)である。両社の生産量は ExxonMobil の4分の3前後である。BP 及び Total はこれら3社よりかなり少なく、Total は1,271千 B/D、BP は1,208千 B/D の石油を生産しており、ExxonMobil の2分の1強にとどまっている。

(2) 天然ガス生産量

天然ガスの生産量が最も多いのは Shell(日量10,613百万立方フィート、以下 mmmcf)であった。2位は ExxonMobil の10,127mmcf で、この2社が日産100億立方フィートを超えている。3位以下は Total(6,447mmcf)、BP(5,796mmcf)、Chevron(5,252mmcf)と続いている。Chevron は5社中で最も少なく、ExxonMobil の半分である。

(3) 石油・天然ガス合計生産量(石油換算)



石油と天然ガスの合計生産量が最も多いのは ExxonMobil であり石油換算で4,053千 B/Dである。2位は Shell の3,668千 B/Dで ExxonMobil の9割である。その他の3社は Chevron(2,594千 B/D)、Total(2,452千 B/D)、BP(2,208千 B/D)と200万 B/D 台に並んでいる。ExxonMobil の生産量を100とした場合、他

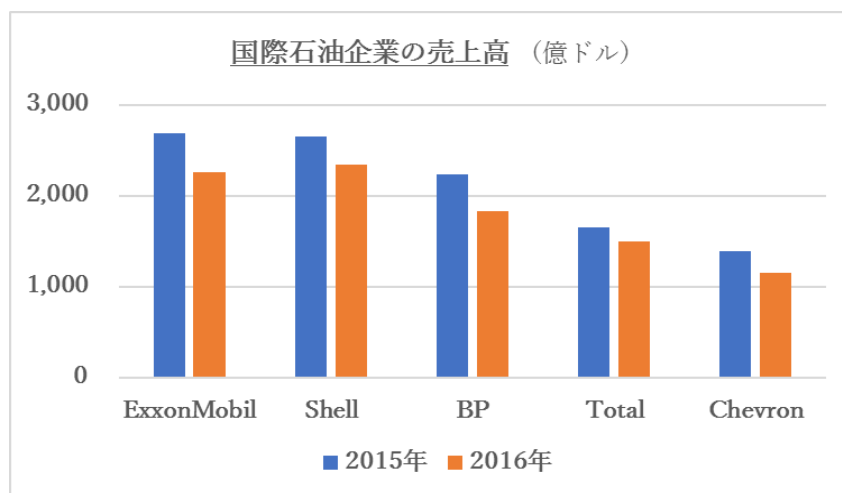
の4社は Shell91、Chevron64、Total と BP はそれぞれ60及び54である。

各社の石油と天然ガスの比率を見ると、Chevron は石油66%、天然ガス34%であり5社の中では石油の比率が最も高い。その他4社の石油：天然ガスの比率はそれぞれ、ExxonMobil(石油58%：天然ガス42%)、BP(石油55%：天然ガス45%)、Total(石油52%：天然ガス48%)、Shell(石油50%：天然ガス50%)である。Shell は石油と天然ガスの比率が1対1である。

III. 2015年と2016年の5社業績比較

2016年は2015年に引き続き原油価格の低迷により国際石油企業は売上が大幅に落ち込んだが、利益は各社によって明暗を分けた。また原油価格回復の見通しが立たない中、各社とも設備投資を下方修正する動きが止まらない。ここでは両年の売上、利益、設備投資を取り上げて各社の業績の明暗を分析する。

1. 売上高



5社の売上順位は2015年と2016年でトップはExxonMobil から Shell に替わったが、両社の差はわずかである。3位から5位はBP、Total、Chevron と続く。各社とも2015年から2016年にかけて売り上げは9%から18%程度落ち込んでおり、Shell は2,650億ドル→2,336億ドル、

ExxonMobil 2,689億ドル→2,261億ドル、BP2,229億ドル→1,830億ドル、Total1,654億ドル→1,497億ドル、Chevron1,385億ドル→1,145億ドルであった。落ち込み幅が最も大きかったBPは18%減、最も少ないTotalで9.4%であった。

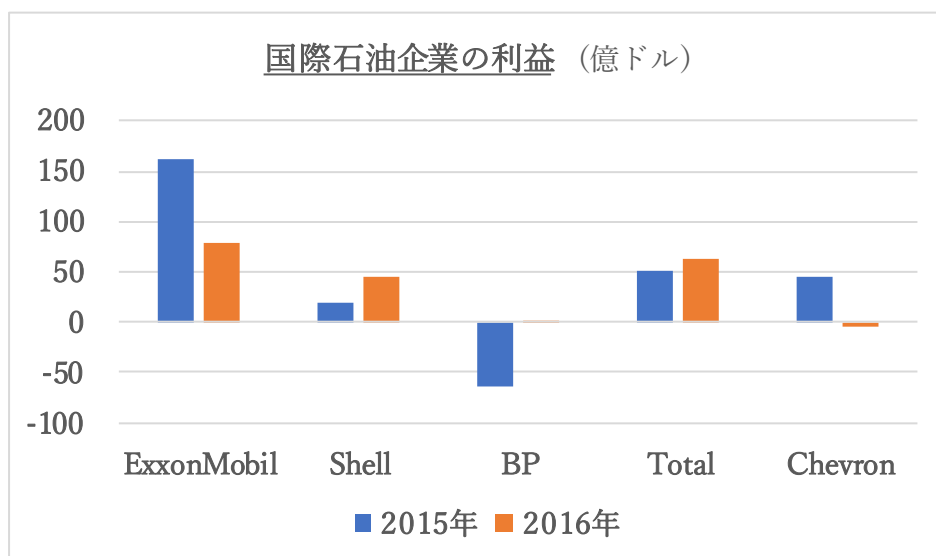
売り上げの減少はひとえに石油・天然ガス価格の下落が原因だったと言える。因みに代表的な指標原油である Brent 原油の2015年の年間平均価格は52.39ドル/バレルであり、2016年のそれは43.73ドル/バレルと価格は17%下落しており、また天然ガスの指標価格である米国 Henry Hub 引渡価格は百万 BTU 当たり2015年の2.60ドルに対して2016年は2.46ドルであり、5%下がっている¹。

2. 損益

(1) 総合損益

2016年の利益を前年の2015年と比較すると各社によって明暗が大きく分かれている。2016年に5社で最も利益が多かったのは ExxonMobil でその額は78億ドルであった。しかしこれは同社

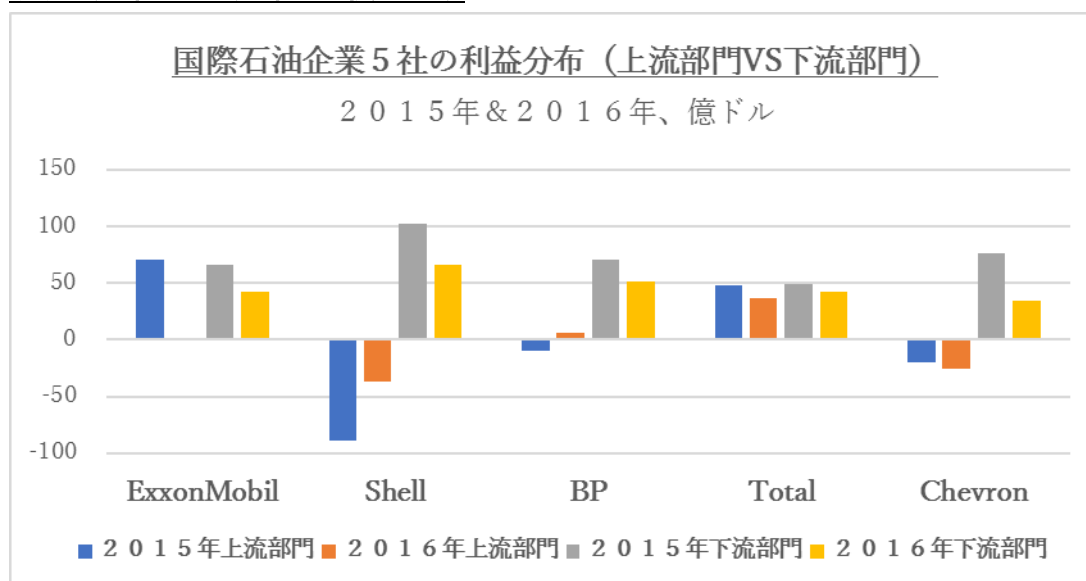
の2015年の利益162億ドルから半減している。これに対して Total は2015年の51億ドルを22%上回る62億ドルの利益を計上している。



また Shell の利益は前年の2.4倍の46億ドルであり、利益の上昇率では5社のトップである。BP は2015年の大幅欠損を脱し、わずかではあるがプラスに転じている(-65億ドル → +1億ドル)。これに対してここ数年

ExxonMobil に次ぐ利益を計上していた Chevron は2015年の利益46億ドルから2016年は5億ドルの損失に転落、5社の中で唯一マイナス決算になっている。

(2) 上流部門と下流部門の損益比較



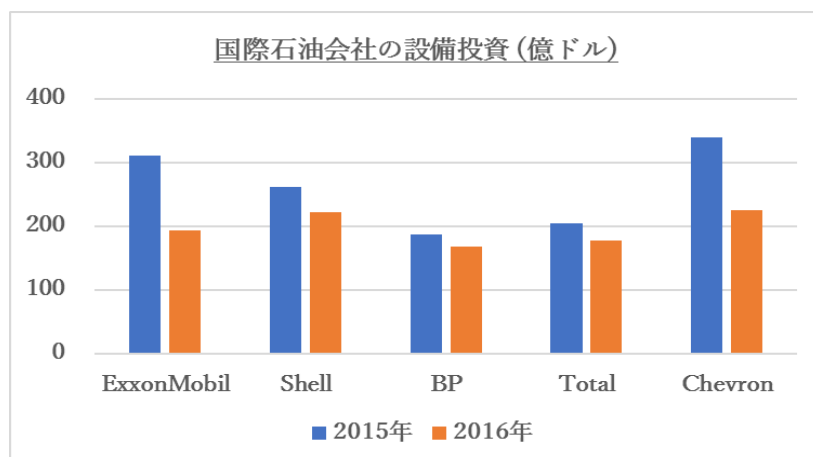
各社の利益を上流部門(生産)と下流部門(精製)に分けてみると下流部門はいずれも前年より利益額が減少しているものの黒字傾向を維持している。しかし上流部門は ExxonMobil、Total、Chevron のように黒字が減少、あるいは赤字幅が拡大した企業がある反面 Shell、BP は赤字幅の縮小あるいは赤字から黒字に転換するなど改善が見られる企業の二極に分化している。

例えば ExxonMobil の場合、2015年の上流部門利益は71億ドル、下流部門は66億ドルであったが、2016年は上流部門2億ドル、下流部門42億ドルといずれの部門も利益が減少している。Shell は両年とも上流部門が赤字、下流部門が黒字であったが、2016年は上流部門の損失が減

少した反面(-88億ドル → -37億ドル)、下流部門は利益幅が縮小している(102億ドル→66億ドル)。Total は5社の中で上流・下流とも比較的安定した収益を上げている(上流部門:48億ドル→36億ドル、下流部門49億ドル→42億ドル)。

(注) 最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているなど各社によって異なるため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない

3. 設備投資



設備投資は5社すべてが前年を下回っており、ExxonMobilは311億ドル→193億ドル(38%減)で5社の中では減少幅が最も大きい。Shellは261億ドル→221億ドル(15%減)、でまたBPは186億ドルから167億ドルに10%減少、Totalは204億ドル→178億ドル(13%減)、Chevronは340

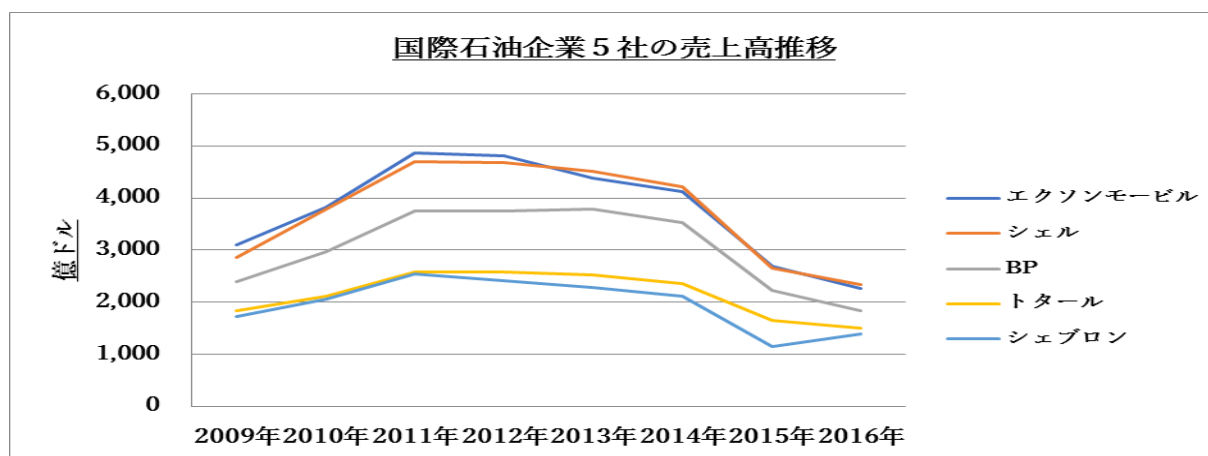
億ドル→224億ドル(34%減)である。

各社とも原油価格の下落とそれによる業績悪化のため設備投資を削減している。設備投資のうち探鉱開発投資の減少は将来の各社の石油・天然ガス生産量の減少となり懸念される。

IV. 8カ年(2009-2016年)業績推移の比較

ここでは2009年から2016年までの過去8年間の5社の業績の推移を比較検討する。因みに2009年は前年々央にBrent原油の価格が史上最高の147ドル(バレル当たり)を記録しており、また2011年から13年までの3年間は年間平均価格が100ドルを超えた。しかしその後2015年は一転して50ドル台に半減、2016年初めには30ドルを割るまでに落ち込んでいる。

1. 売上高



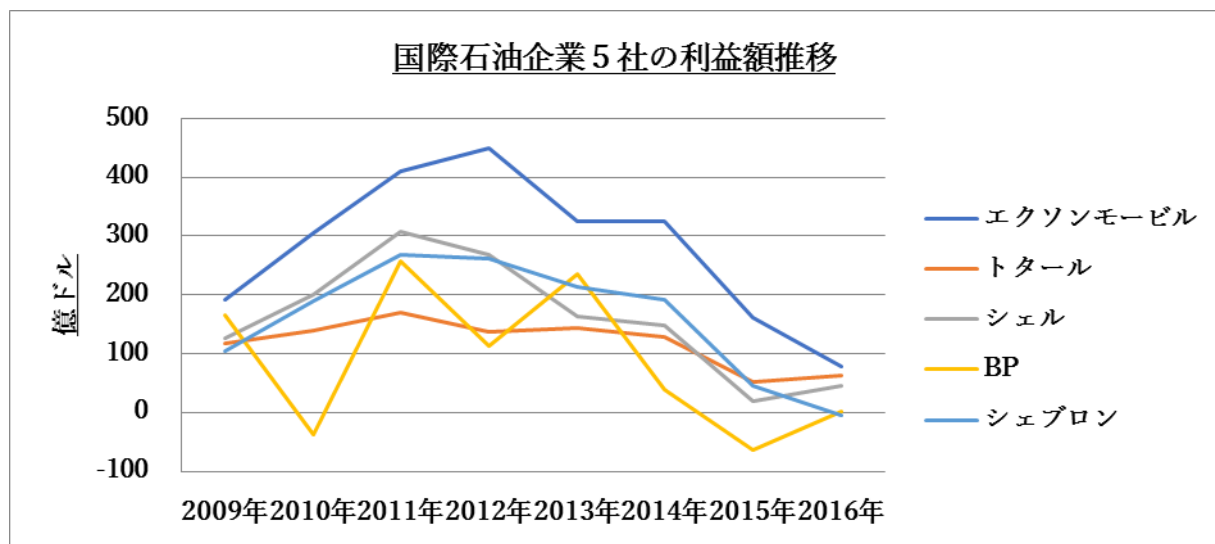
2009年の売上高トップは ExxonMobil の3, 106億ドルであり Shell が2, 851億ドルの第2位であった。そして売上高第3位は BP(2, 393億ドル)で、Total と Chevron はそれぞれ1, 832億ドル及び1, 716億ドルであった。5社の順位は2009年から2012年までの4年間は ExxonMobil がトップであったが、2013年、2014年および2016年は Shell がトップに立っており、両社は頻繁にトップが入れ替わっている。

これに対して BP の売上高は ExxonMobil、Shell の8割前後で5社中の3位を維持している。また Chevron および Total の売上高の差は小さく、両社ともトップ2社の5～6割の水準で推移している。

年毎に見ると2010年以降は原油価格が持ち直し各社とも売り上げは回復、さらにその後は年間平均価格が100ドル(Brent)を超えたため各社とも2014年まで売上高は高水準の状態であった。しかし2014年後半から石油価格が急落したため同年の売上はいずれも前年を7%前後下回った。

2015年は価格がさらに大幅に下落したため5社の売上高は共に前年を30%以上減少、リーマンショック後の2009年を下回った。2016年も価格は低水準で推移したため売上高はシェブロンを除く4社は前年を下回った。2009年を100とした場合、2016年の売上高は ExxonMobil が73、Shell は82、BP、Total、Chevron はそれぞれ76、82及び81であり、5社ともに2割前後減少している。さらに8カ年のピークであった2011年と比較すると、ほぼ半減の状況である。

2. 利益



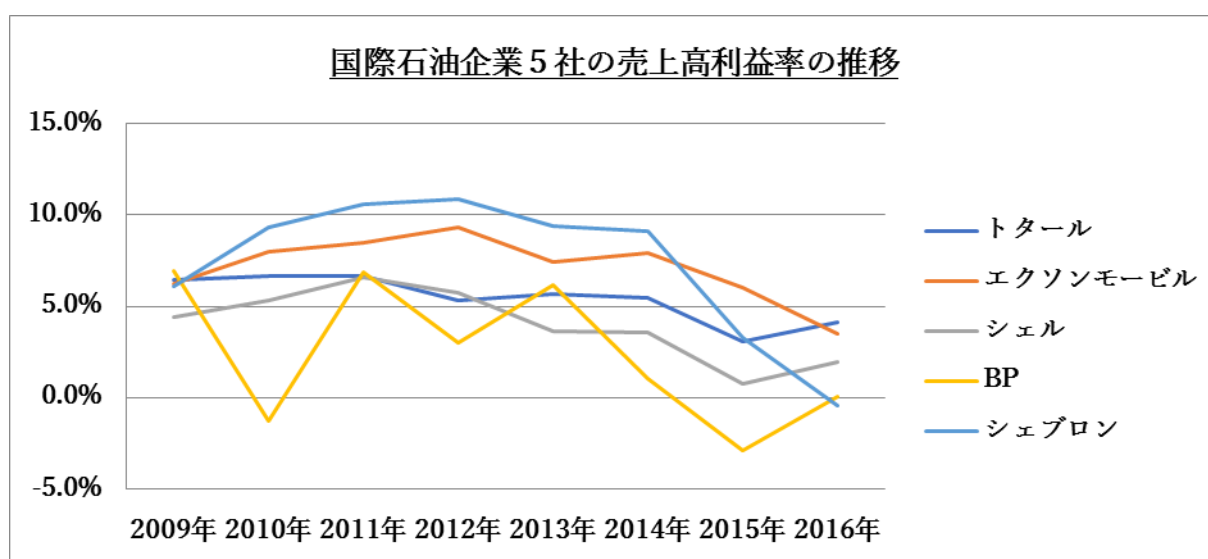
2009年から2016年までの5社の利益の推移を見ると、2009年はリーマン・ショックと油価急落の影響を受けた中でExxonMobilが193億ドルの利益を計上、BP(166億ドル)、Shell(125億ドル)、Total(118億ドル)、Chevron(105億ドル)といずれも利益は100億ドル台でひしめき合っていた。

翌年の2010年にはExxonMobil、Shell及びChevronが業績を回復する一方、BPはメキシコ湾原油流出事故により欠損となった。2011年には各社とも好調で業績は右肩上がりに回復、5社の利

益はそれぞれ ExxonMobil(411億ドル)、Shell(308億ドル)、Chevron(269億ドル)、BP(257億ドル)、Total(171億ドル)であった。

ExxonMobil は2012年に前年を上回る449億ドルの利益を計上したが、他の4社は利益下落の兆しが表れた。そして2013年以降は5社すべての利益が減少局面に入り、特に2015年には対前年比で50%以上急減している(詳細は III.2参照)。2015年の各社の利益はそれぞれ ExxonMobil(162億ドル)、Total(51億ドル)、Chevron(46億ドル)、Shell(19億ドル)、BP(マイナス65億ドル)であるが、2009年を100として比較すると ExxonMobil 84、Chevron 44、Total 43、Shell 15、BP -39となり、ExxonMobil 以外は利益が半減、場合によってはマイナスに転落している。2016年も利益の低迷状況は続き ExxonMobil 及び Chevron2社は前年を下回る水準にとどまっている。

3. 売上高利益率



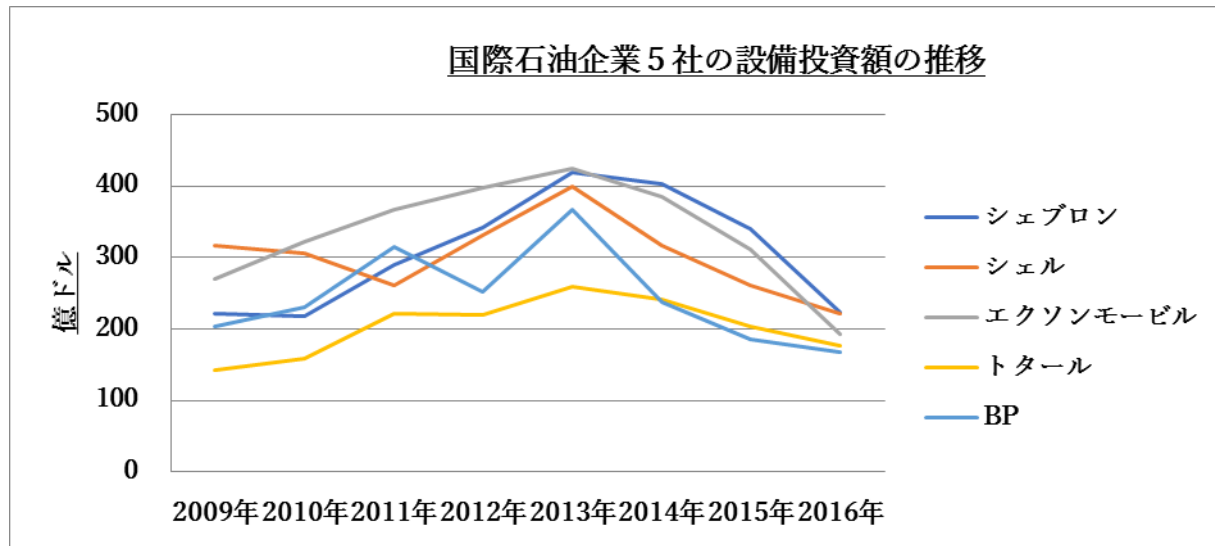
2009年は ExxonMobil, BP, Total 及び Chevron はいずれも6%台の利益率で拮抗し、Shell のみが4%台の低い水準にとどまっていた。その後2014年までは Total と ExxonMobil が8~10%と他の4社を引き離す高い利益率を維持する一方、Shell と Total は4~6%の利益率で推移、BP の利益率は毎年大きく変動した。

2015年には各社とも利益率が急落、特に Chevron は前年の9.1%から3.3%に落ち、また BP は2010年に続き二度目のマイナスの利益率(-2.9%)を記録した。2016年は各社によって明暗が分かれ ExxonMobil と Chevron が2年続けて利益率が下落(Chevron はマイナスに転落)した一方、その他の3社は利益率が回復している。

4. 設備投資

2009年の設備投資額は Shell が317億ドルで最も多く、ExxonMobil(271億ドル)、Chevron(222億ドル)、BP(203億ドル)と続き Total は143億ドルで最も少なかった。翌2010年は Shell と Chevron が若干減少したがその他の3社は増加しており、ExxonMobil が322億ドルと最も多かった。その後各社によって差異はあるものの設備投資額は増加する傾向にあり、2013年には5社の設

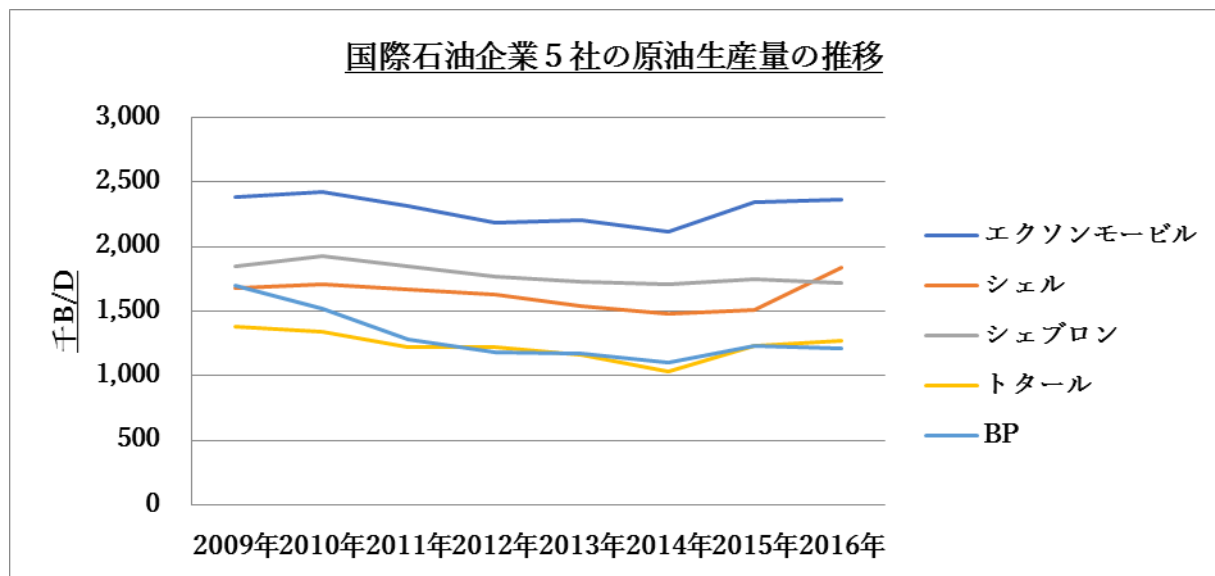
備投資額はピークに達した。この年に投資額が最も多かったのは ExxonMobil の425億ドルであり、Chevron 及び Shell が419億ドルと400億ドル3社そろって400億ドル台であった。そして BP は366億ドル、Total は259億ドルであり、5社ともに2009年から2016年までの8年間では最も設備投資が盛んであった。



しかし2014年以降昨年までは5社すべてが連続して設備投資が減少している。中でも ExxonMobil の2016年の設備投資額は193億ドルで2013年の2分の1以下に落ち込んでいる。2014年の石油価格の暴落により売上および利益が急落したこともあり各社とも設備投資を削減する方向にあるが、特に上流部門の設備投資削減は安定的な生産維持にとっては懸念要因である。

5. 石油及び天然ガス生産量

(1)石油生産量



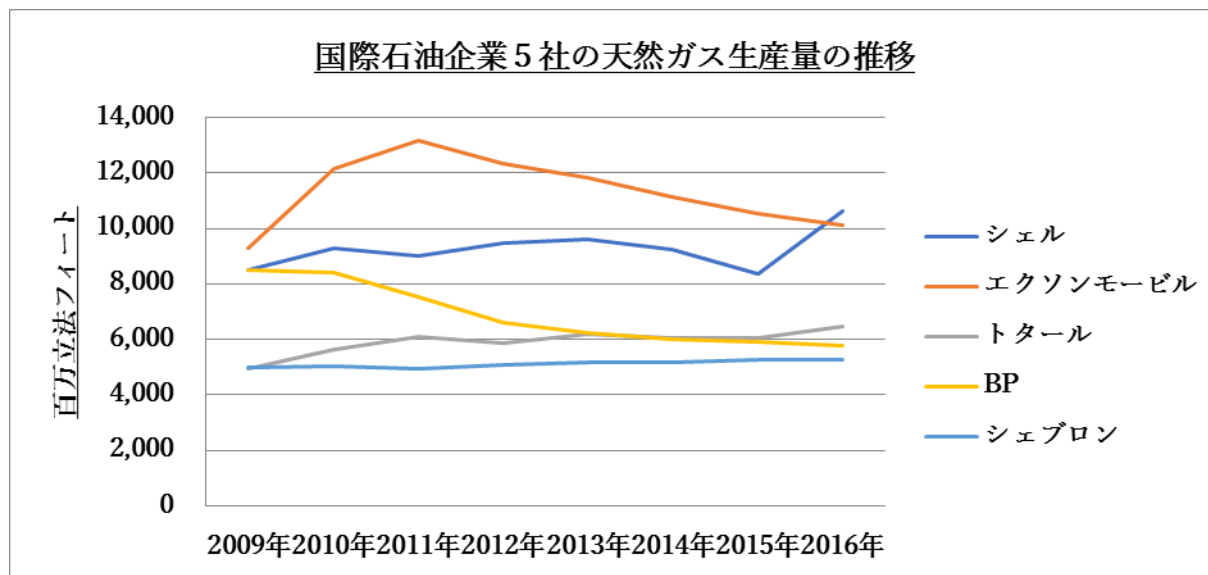
5社の2009年から2016年までの石油生産量の推移を見ると、8年間を通じて ExxonMobil は他の4社を大きく引き離している。同社の生産量は、2,387千 B/D(09年) → 2,422千 B/D(10年) → 2,312千 B/D(11年) → 2,185千 B/D(12年) → 2,202千 B/D(13年) → 2,111千 B/D(14年) → 2,200千 B/D(15年) → 2,300千 B/D(16年)と推移している。

4年)→2, 345千 B/D(15年)→2, 365千 B/D(16年)と5社の中で唯一常に2百万 B/D 以上を維持している。

ExxonMobil 以外の2009年の生産量は Chevron 1, 846千 B/D、BP1, 695千 B/D、Shell1, 680千 B/D、Total1, 381千 B/D の順であった。2010年以降2014年まで5社はいずれも毎年生産量が減少し続けており、2014年の各社の生産量は ExxonMobil2, 111千 B/D、Chevron1, 709千 B/D、Shell1, 484千 B/D、BP1, 106千 B/D、Total1, 034千 B/D に落ち込んだ。2015年から2016年にかけては原油生産量は増加傾向にあり、特に Shell は Chevron を追い抜き ExxonMobil について2位の生産量を誇っている。

2009年の生産量を100とした場合、2016年の各社生産量は ExxonMobil 99、Chevron 93、Shell 109、Total 92、BP 71であり、5社の中では Chevron のみが2009年を上回っているのに対して BP は2009年の7割にとどまっている。

(2)天然ガス生産量

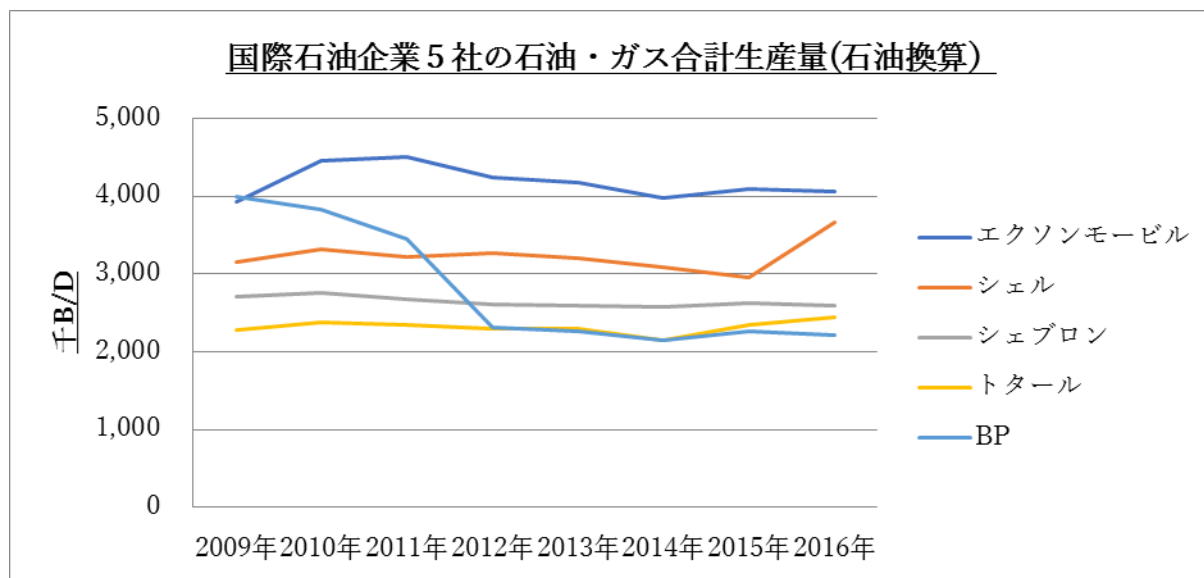


2009年から2016年までの天然ガスの生産量は各社で明暗が分かれている。2009年の生産量は ExxonMobil が93億立法フィート/日(以下 cfd)で5社のトップであり、Shell と BP が85億 cfd で並んでいる。また Total と Chevron はこれら3社よりかなり低く50億cfd弱で並んでいる。その後2010年から11年にかけては ExxonMobil の生産量は急激に伸び、また Shell 及び Total も漸増傾向を示したのに対し、BP は大幅に減少、Chevron は横ばいにとどまっている。但し2011年以降 ExxonMobil は生産量の減少に歯止めがかからず2011年の132億cfdが2016年には101億 cfd に落ち込んでいる。これに対して Shell の天然ガス生産量は2016年に大幅に伸び、ExxonMobil を追い抜いて5社のトップになっている。

2016年の各社の生産量は Shell 106億 cfd、ExxonMobil 101億 cfd、Total 64億 cfd、BP 58億 cfd、Chevron 53億 cfd となり、トップの Shell と Total、BP 及び Chevron との格差は2倍前後に開いている。因みに2009年の生産量を100とした場合の各社の2016年のそれは Total 131、

Shell 125、ExxonMobil 109、Chevron 105、BP 68であり、BP のみが8年前の水準を下回っている。

(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)



石油と天然ガスの合計生産量(石油換算)を見ると、2009年には BP(3,998千 B/D)と ExxonMobil(3,932千 B/D)が並び、これに Shell が3,152千 B/D で続き、Chevron(2,704千 B/D)と Total(2,281千 B/D)は2百万 B/D 台であった。

2016年までの8年間でBP は220万 B/D 前後まで急減、その他4社は2014年までほぼ横ばい乃至下降気味となり、2016年には Shell が大きく伸びて過去8年間で最も多い生産量を達成しており、ExxonMobil、Total、Chevron の各社は2009年とほぼ横ばいの状況である。上記(1)石油生産量及び(2)天然ガス生産量の推移からもわかるとおり、BP は石油、天然ガスともに激減し、ExxonMobil、Chevron 及び Total の3社はほぼ横ばいで推移、Shell は石油、天然ガスともに昨年増加したことにより2009年を2割近く上回る生産量となっている。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

2016年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)国際石油企業の業績

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2016年10-12月	61,016	64,767	51,007	42,275	31,497
	前年同期	59,807	58,146	49,172	37,749	29,247
	増減(%)	2.0%	11.4%	3.7%	12.0%	7.7%
	2016年1-12月	226,094	233,591	183,008	149,743	114,472
	前年1-12月	268,882	264,960	222,894	165,357	138,477
	増減(%)	-15.9%	-11.8%	-17.9%	-9.4%	-17.3%
利益(百万ドル)(*)	2016年10-12月	1,680	1,541	497	548	415
	前年同期	2,780	939	▲ 3,307	▲ 1,626	▲ 588
	増減(%)	-39.6%	64.1%	-115.0%	-133.7%	-170.6%
	2016年1-12月	7,840	4,575	115	6,196	▲ 497
	前年1-12月	16,150	1,939	▲ 6,482	5,087	4,587
	増減(%)	-51.5%	135.9%	-101.8%	21.8%	-110.8%
売上高利益率(%)	2016年10-12月	2.8%	2.4%	1.0%	1.3%	1.3%
	前年同期	4.6%	1.6%	-6.7%	-4.3%	-2.0%
	2016年1-12月	3.5%	2.0%	0.1%	4.1%	-0.4%
	前年1-12月	6.0%	0.7%	-2.9%	3.1%	3.3%
上流部門利益(百万ドル)(*)	2016年10-12月	▲ 642	35	692	1,131	930
	前年同期	857	▲ 1,458	▲ 2,280	748	▲ 1,361
	増減(%)	-174.9%	-102.4%	-130.4%	51.2%	-168.3%
	2016年1-12月	196	▲ 3,674	574	3,633	▲ 2,537
	前年1-12月	7,101	▲ 8,833	▲ 937	4,774	▲ 1,961
	増減(%)	-97.2%	-58.4%	-161.3%	-23.9%	29.4%
下流部門利益(百万ドル)(*)	2016年10-12月	1,241	1,575	899	1,138	357
	前年同期	1,351	2,502	838	1,007	1,011
	増減(%)	-8.1%	-37.1%	7.3%	13.0%	-64.7%
	2016年1-12月	4,201	6,588	5,162	4,201	3,435
	前年1-12月	6,557	10,243	7,111	4,889	7,601
	増減(%)	-35.9%	-35.7%	-27.4%	-14.1%	-54.8%
設備投資(百万ドル)	2016年10-12月	4,829	5,714	4,658	4,928	5,261
	前年同期	7,416	7,299	5,126	4,289	8,707
	増減(%)	-34.9%	-21.7%	-9.1%	14.9%	-39.6%
	2016年1-12月	19,304	22,116	16,701	17,757	22,428
	前年1-12月	31,051	26,131	18,648	20,360	33,979

	増減(%)	-37.8%	-15.4%	-10.4%	-12.8%	-34.0%
原油生産量 (1,000B/D)	2016年10-12月	2,384	1,954	1,178	1,257	1,745
	前年同期	2,481	1,532	1,326	1,251	1,775
	増減(%)	-3.9%	27.5%	-11.2%	0.5%	-1.7%
	2016年1-12月	2,365	1,838	1,208	1,271	1,719
	前年1-12月	2,345	1,509	1,232	1,237	1,744
	増減(%)	0.9%	21.8%	-1.9%	2.7%	-1.4%
天然ガス生産量 (100万 cfd)	2016年10-12月	10,424	11,315	5,846	6,597	5,546
	前年同期	10,603	8,741	6,048	5,993	5,385
	増減(%)	-1.7%	29.4%	-3.3%	10.1%	3.0%
	2016年1-12月	10,127	10,613	5,796	6,447	5,252
	前年1-12月	10,515	8,380	5,951	6,054	5,269
	増減(%)	-3.7%	26.6%	-2.6%	6.5%	-0.3%
原油・ガス生産量 (石油換算 1,000B/D)	2016年10-12月	4,121	3,905	2,186	2,462	2,669
	前年同期	4,248	3,039	2,369	2,352	2,673
	増減(%)	-3.0%	28.5%	-7.7%	4.7%	-0.1%
	2016年1-12月	4,053	3,668	2,208	2,452	2,594
	前年1-12月	4,097	2,954	2,258	2,347	2,622
	増減(%)	-1.1%	24.2%	-2.2%	4.5%	-1.1%

* 総合損益には石油化学部門あるいはその他の損益を含むため、上流部門・下流部門損益の合計額とは一致しない場合がある。

¹ Shell 決算付属資料参照。

<http://www.shell.com/investors/financial-reporting/quarterly-results/2016/q4-2016.html#q4-2016-documents>